

東日本大震災に第一次救援募金 273,400 円を送る！

東北地方太平洋沖地震と長野県北部地震で被災された方々に心よりお悔み、お見舞いを申し上げます。富士見町内でも激しい揺れを感じ、棚が倒れたり、床にヒビが入る等の被害が見られました。ひなたぼっこでは、さっそく救援募金などに取り組み、3月28日(月)に273,400円を民医連災害支援対策本部を通じて送金しました。3月23日まで、民医連では医師や看護師など873名を現地へ支援に送りました。

また、長野県から要請があったグループホーム緊急受入で、グループホームひなたぼっこは1名の受け入れを回答しました。

福島への被災地に行ってきました。

私は大地震が発生して3日後にやっと福島の二人の兄弟と連絡がとれました。家は全壊したとのことでした。私は急いで衣類、食糧、燃料を車に積んで20時間かけて到着しました。現地や避難所は言葉にならないほどの状況でした。出るのはため息と涙だけでした。復興は長期になると思いますが、今後とも皆さんの暖かいご支援をお願いします。(田辺益行)

大正琴と歌のつどい

3月7日(月)大正琴のボランティアさんが、お見えになり、懐かしい曲を演奏していただきました。歌集が配られ、皆さんと一緒に大正琴の音色に合わせて歌ったり、体を動かしたりしました。



(大正琴に合わせて歌いました)

ボランティアさん募集

(個人でも団体でも、ご紹介ください)

マジックショーに歓声

3月18日(金)グループホームにおいて、マジックショーが開催されました。



前は宅老所にて行われましたが、今回はグループホームの広い所で演じていただきました。それぞれの出し物に、興味しんしん「あれまー不思議だね」と目をこらし、感心してご覧になりました。

子どもさんもお預かりしています

春休みで幼稚園がお休みのため、3月下旬から4月の初めまで、5歳のHくんをお預かりしました。

毎日元気に来所し、「おじいちゃん おばあちゃん」と仲良しになり、楽しく生活しました。



(今日は大根おろしのお手伝い)

利用者さんの作品



切り紙による桜の花が画面にいっぱい咲きました。「ひなたぼっこ」はもう桜が満開です。

4月の行事予定

- ・20日 詩吟と俳句を作る会(G・H)
- ・作品作り:「金太郎さん」貼り絵(宅老所)